

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名 サカタインクス株式会社
 住所 大阪本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目23番37号
 東京本社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番25号
 担当部門 生産技術本部 品質・環境部 環境保安グループ
 電話番号 072(785)7703 FAX番号 072(785)7732
 緊急連絡先 生産技術本部 電話番号 072(785)7703
 作成 平成 5年10月29日
 改訂 平成16年 5月14日

整理番号 9-1-4

【製品名】(化学名、商品名) Super-EX FK-99 (段ボール印刷用水性インキ)

【物質の特定】 単一製品・混合物の区別:混合物

成分:顔料、水性ワニス(合成樹脂、水)、および添加剤

国連分類及び国連番号:国連分類の定義上危険物に該当しない。

法令 * で通知する事が義務づけられた化学物質: 3頁の「化学物質情報」を参照して下さい。

- * i. 労働安全衛生法 : 表示対象物及び通知対象物
- ii. 化学物質管理促進法 : 第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質
- iii. 毒物及び劇物取締法 : 毒物及び劇物

【危険有害性の分類】

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

【応急措置】

- 目に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服や靴等の汚れを落としたのち、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせ、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】 消火方法 : 燃焼性なし(但し引火点有り 約77℃)

【漏出時の措置】 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。洗い流す場合には中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。

【取扱い及び保管上の注意】 取扱い : 取扱いには適切な保護具を着用する。作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。

保管 : 容器を密栓し、常温にて貯蔵、保管する。漏洩防止のため、容器の損傷に注意する。

【暴露防止措置】 管理濃度 : 該当物質を含まない。

保護具 : 耐油性保護手袋等を使用する。

【物理/化学的性質】外観等 : 液体 臭気 : 僅かな臭い

溶解度 : 水 易溶

【危険性情報】 引火点 : 約77℃(セタ密閉式)

燃焼性 : なし

安定性・反応性 : 常温以下では安定。

【有害性情報】 知見なし

3ページの「化学物質情報」も参照してください。

【環境影響情報】 知見なし

【廃棄上の注意】	ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部へ流失しないように密栓する。 焼却する場合は、産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
【輸送上の注意】	容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。 消防法の危険物等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。
【適用法令】	火災予防条例：可燃性液体類(2m ³ 以上の場合は指定可燃物) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 化学物質管理促進法
【その他】	参考資料：製品安全データシートの作成指針 社団法人 日本化学工業協会発行

☆「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。

本安全シートは、安全や品質の保証書ではありません。

化学物質情報

作成日：平成 5年10月29日
改訂日：平成16年 5月14日

【製品名】(化学名、商品名) Super-EX FK-99

(毒劇法:非該当)

化学物質の名称	化学物質 管理促進法 該当する 号の番号	Cas No	該当する製品	労働安全衛生法		化学物質管理促進法		IARC (ハザード ランク)	参考 変異原性 (厚生労 働省)	有害性情報				
				通知 対象物 含有量(%)	表示 対象物	第一種 指定化学 物質 (%)	第二種 指定化学 物質 (%)			管理濃度		ACGIH 1999	経皮 吸収	
										ppm	mg/m ³	許容濃度(TWA) ppm		mg/m ³
モリブデン及びびその化合物	346	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	10 as Mo	—
カーボンプラック	—	1333-86-4	墨イソキ	10~20	—	—	2B**	—	—	—	—	—	3.5	—
酸化チタン(IV)	—	13463-67-7	白イソキ	40~50	—	—	3	—	—	—	—	—	10	—
銅及びその化合物	—	—	藍・草イソキ	10~20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 色相によりモリブデン及びびその化合物を含有するイソキがあります。

**印刷イソキは3に指定されています。

分析試験成績書

第203120706-001号
2003年(平成15年)12月26日

依頼者 サカタインクス株式会社

検体名 Super-EX FK-99 混合色

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒150-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府堺市東区豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0031 福岡県博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩区永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒060-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2003年(平成15年)12月08日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
鉛	検出せず	0.5 ppm		原子吸光光度法

以上

分析試験成績書

第203120706-002号
2003年(平成15年)12月26日

依頼者 サカティンクス株式会社

検体名 Super-EX FK-99 混合色

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒158-0062 東京都目黒区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府大阪市東淀川区豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目15番13号
 九州支所 〒812-0024 福岡市南区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0005 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0062 北海道千歳市文京2丁目3番

2003年(平成15年)12月08日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
カドミウム	検出せず	0.1 ppm		原子吸光度法

以上

分析試験成績書

第203120706-003号
2003年(平成15年)12月26日

依頼者 サカティンクス株式会社

検体名 Super-EX FK-99 混合色

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒154-0062 東京都港区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府大阪市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0024 福岡県糟屋郡下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2003年(平成15年)12月08日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
総水銀	検出せず	0.01 ppm		還元気化原子吸光光度法

以上

分析試験成績書

第203120706-004号
2003年(平成15年)12月26日

依頼者 サカティンクス株式会社

検体名 Super-EX FK-99 混合色

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒157-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府大阪市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒060-0059 北海道千歳市文京2丁目3番

2003年(平成15年)12月08日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
総カドミ	検出せず	0.5 ppm		ジフェニルカルバジド 吸光光度法

以上

本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

試験法の概要

① カドミウム、鉛（原子吸光光度法）

試験溶液の調製法

硝酸及び硫酸を用いて、湿式分解を行った。

中和後、APDC を加えて錯体をつくり、酢酸ブチルで抽出した。

測定

酢酸ブチル層をフレイム原子吸光装置に噴霧し、測定した。

測定波長；カドミウム：228.8nm

鉛：283.3nm

フレイム条件；空気－アセチレン

測定機器；AA890（日本ジャーレル・アッシュ）

② 総水銀（還元気化原子吸光光度法）

試験溶液の調製法

硝酸、硫酸及び過マンガン酸カリウムを用いて、湿式分解を行った。

（還流冷却器を接続）

測定

塩酸ヒドロキシルアミンで過マンガン酸カリウムを還元後、

塩化第一スズで水銀を還元気化させ、原子吸光装置で測定した。

測定波長；253.7nm

測定機器；HG200（平沼産業）

③ 総クロム（ジフェニルカルバジド吸光光度法）

試験溶液の調製法

500℃で乾式灰化した後、硫酸に溶解した。

測定

クロムを6価に酸化した後、ジフェニルカルバジド溶液を加え、

波長 540nm における吸光度を測定した。

測定機器；UV1600PC（島津製作所）